

気仙沼のことを伝えたい 気仙沼ツアー 8/16~17

◇大島中学校にて

今年で4年目の気仙沼ツアーには、これまでで最多の41人の南中生が参加しました。ツアーでは、たくさんの体験をさせていただきました。また、たくさんの方々に出会い、ご苦労や優しさを知ることが出来ました。

2日目の大島中への訪問では、ほぼ全校生徒にあたる40人の大島中生と先生方が温かく出迎えてくださり、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

気仙沼ツアーを通して、たくさんのことを学び、そして楽しむことが出来ました。このような出来事があったことを忘れない、そして伝えていくことが大切だと改めて思いました。(生方愉菜)



リアスアーク美術館

原形をとどめない自転車、真っ茶色のぬいぐるみ…被災物は津波の怖さを物語っていました。



被災物に添えられたメッセージや、朗読していただいた中学2年生の男子が書いた作文が、胸に響きました。

カキの養殖イカダ

大島の小松さんに案内いただきました。群馬高専の小島先生に鉄分供給の仕組みをおしえていただきました。



三陸の海の幸

宿舎の国民休暇村気仙沼大島では、おいしい夕食と朝食を食べさせていただきました。特にホタテの殻焼きは最高でした!



夕食の後の学習会

黒澤さんの「もしも沼田市に何かあったら、今度は私たちが真っ先に駆けつけたい」の言葉にじい〜んとしました。



地引き網

トビウオやアジやサバなどがたくさん網にかかっています。このあと、海で泳ぎました! 海のある街って、いいなあ。



義援金

物産販売や募金によって作った91,449円の義援金を、今年は菅原市長さんご本人に直接手渡すことが出来ました。4年間の累計で535,746円になりました。昨年は、その一部が桜の苗木になりました。



いつかまた行きたいです

私にとって震災は過去のことになりました。しかし、今回自分の目でみてきたことによって、まだまだ多くの人々が震災の影響を受け続けていることが分かりました。改めて私たちの記憶に留めておかなければいけないと思いました。

また、今こうして何の不自由もなく生活できることに幸せを感じて生きていきたいと思えます。

これからも私に出来る復興支援があれば、積極的に参加したいです。いつかまた、成長した桜の木と、復興した気仙沼の街が見たいです。(片山紀子)



←仮設住宅わきの広場にある桜。標柱も立てていただいております。

◆◆◆お世話になった皆さまへ ありがとうございます◆◆◆

- ツアーを主催してくださった本町通有成会連合会の小池さん、同行してくださった小坂橋さんはじめたくさんの皆さま、ありがとうございました。
- 「つながろう気仙沼プロジェクト」を支えてくださっている、沼田市と気仙沼市の商工会議所の皆さま、ありがとうございました。
- 義援金をお渡しするとき、私たちのために時間を作ってくださった気仙沼市長様、気仙沼市役所の皆さま、ありがとうございました。
- 学習会でのお話をしてくださった海鮮隊の黒澤さん、大島の小松武さん、ありがとうございました。
- 漁船に乗せていただき、カキの養殖のことを教えてくださった小松政行さんご一家の皆さま、群馬高専の小島先生、ありがとうございました。
- おいしい食事と、漁場や釣り場や大島中までの送迎をたくさんしてくださった、休暇村気仙沼大島のスタッフの皆さま、ありがとうございました。
- おおぜいで温かく迎えてくださった大島中学校の皆さん、先生方、ありがとうございました。楽しかったです! いつか沼田にも来てくださいね!
- 2日間安全で快適に私たちを運んでくださった新和観光の皆さま、ありがとうございました。車中、元気すぎてすみませんでした。

○ここに書ききれないお世話になったすべての皆さま、ありがとうございました。

私たちの義援金で植えてくださった桜の木が去年より少しだけ大きくなっていました。気仙沼の方々と私たちとの交流も毎年毎年少しずつ深まりますように。(生徒会一同)